

武蔵野市教育、文化等の 総合的施策の大綱（案） の意見募集について

中高生のみな
さまの意見を
聞かせてくだ
さい！



総合教育会議とは？

教育や子どもに関する市の事業を進めるための大きな方向性を、市長と、教育委員会が話し合う仕組み。

➔ 学校教育や生涯学習などに関する様々な計画があります。総合教育会議は、それらをトータルで考え、教育施策を総合的に進めていくことを目的としています。



Q：教育委員会ってなに？

A：教育に関することを、政治的中立性や継続性・安定性を確保して進めるために置かれる合議制の組織です。

Q：どうして市長と教育委員会は総合教育会議で話すの？

A：市の財政を効率的にバランスよく使うのは市長の役割であるため、教育や子どもに関する施策の方向性を、市長と教育委員会とが話し合い、共有しながら進めていく必要があるからです。

大綱とは？

基本理念のほか、**基本的方向性**と、**重点的な取り組み**で構成。

- **基本的方向性**は4年間をかけて目指すべき大まかな方向性のこと。理念と**重点的な取り組み**のつなぎ役。4年に1度改定する。
- **重点的な取り組み**として10の取り組みを掲げており、子どもを対象にしたものと、先生や地域の大人を対象にしたものがある。毎年改定する。

■ 基本的方向性

※ 実際にはA4版半分ぐらいの文字量で、本スライドの7ページに参考として掲載しています。

基本的方向性は4年間かけて目指す大まかな方向性です。

- ① 子どもの権利
- ② 生きる力
- ③ 生涯学習
- ④ 芸術文化

4つが軸となって記載されています。特にみなさんと関係あるのが、
①子どもの権利と②生きる力です。

どんなことでも構わないので、
お気軽にご意見ください。



記載例1) 子どもの権利は大人にもしっかり理解して欲しい。

記載例2) 生きる力という言葉はあまり聞いたことがない。



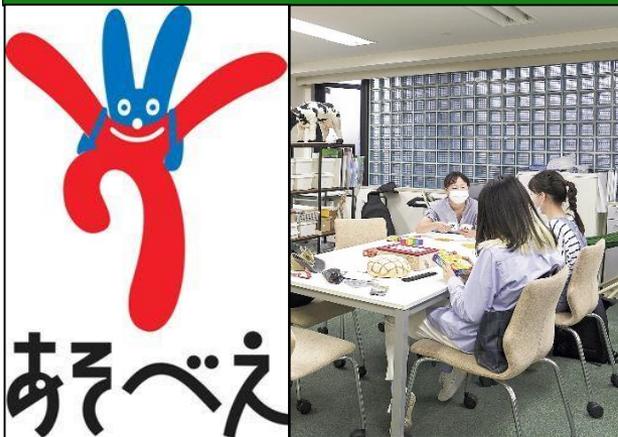
重点的な取り組み (特に子どもと関りが強いもの)

※ 実際にはA4版3ページぐらいの文字量です。

子どもの権利を大事にする取り組み



子どもの居場所の確保



学校図書館の充実



学習者用コンピュータの活用



学校改築



学校と地域の連携



重点的な取り組み

※ 実際にはA4版3ページぐらいの文字量です。
(前のスライド以外のもの)

子育て家庭の支援



誰もがスポーツを楽しめる環境づくり



幼児教育の振興



文化施策の推進



パブリックコメントにご協力ください

以下のURLまたは二次元コードからパブリックコメントの提出フォームにリンクできます。

<URL> <https://logoform.jp/form/SK8e/439654>

<二次元コード>



令和6年1月15日（月）まで回答できます。

無記名でも、記名でも意見が出せます。また、設問はいくつかありますが、空白でも次に進むことができ、空白があっても回答まで進むことができます。

【参考】

※ 基本理念と基本的方向性のみを掲載しています。

■ 基本理念

成熟した市民文化を支える武蔵野市の教育、学術、文化の振興

■ 施策の基本的方向性

市は、市制発足当初より教育都市武蔵野の実現に向け邁進してきた。今後も市の歴史を未来へ継承し、地勢と歴史がはぐくんだ武蔵野の風土に根ざす普遍的で個性豊かな文化の創造と、生涯にわたり住み続けることのできる豊かな地域社会を目指し、学校教育、生涯学習・スポーツ、学術及び文化の振興を図るため、市長と教育委員会は緊密に連携・協力して、以下の基本的方向性に基づき施策等を立案し実施する。

- 1 子どもが基本的人権をもつ権利の主体として尊重され、一人ひとりが個性や可能性を發揮できるよう、子どもの最善の利益を第一に考え、良好な教育環境、社会環境を整備する。
- 2 子どもたち一人ひとりに自ら人生を切り拓き、多様な他者と協働してよりよい未来の創り手となる生きる力を育むための教育を推進する。
- 3 市民の誰もが、いつでも主体的に学習やスポーツに親しみ、深めることができるよう支援するとともに、「学びおくりあう」地域づくりを目指し、生涯学習施策を推進していく。
- 4 市民の誰もが優れた芸術文化や学術の成果を享受できる機会をつくるとともに、市民が自ら活動し、芸術文化を身近に体験、活動、交流できるよう環境整備を進め、本市で醸成されてきた豊かで多様な文化を振興していく。

【お問合せ】

武蔵野市総合政策部企画調整課

〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28

TEL 0422-60-1801

メール SEC-kikaku@city.musashino.lg.jp

